

緊急情報も提供するコミュニティFM「FM八女」

平成24年に開局されたコミュニティFM「FM八女」は、市民参加型の番組を放送するだけでなく、防災情報伝達システムとしての役目も担っています。八女市では、全戸に緊急告知防災ラジオを無償配布しており、電源を切っていたり、他の放送局を聴取していたりする場合でも、緊急時にはFM八女の放送に切り替わり、災害や防災に関する緊急情報を素早く提供する仕組みになっています。



玄関から目的地まで送迎する予約型乗合タクシー



八女市では、自宅の玄関から目的地まで、複数の利用者が乗り合いで活用できる予約制・低料金のタクシーを運営しています。公共交通の空白地をカバーする交通弱者対策として高く評価され、運営にあたる八女市地域公共交通協議会は、地域公共交通優良団体として、平成25年度に福岡県では初めて国土交通大臣表彰を受けました。

九州自動車道へのパークアンドライド駐車場を開設

福岡都市圏とのアクセス強化により、定住促進を図ることを目的として、平成24年3月、九州自動車道の八女インターにパークアンドライド（バス停利用者専用）駐車場がオープンしました。八女インターバス停と天神・博多駅を結ぶ高速バスの定期券を購入した方は無料で駐車場を使用できるほか、定期券や回数券の割引販売もあり、利用者は順調に伸びています。



地域振興につながる国道442号バイパスの全面開通



平成25年5月、八女市の国道3号大島交差点から納楚までの1.16キロが完成し、25年の歳月をかけて国道442号バイパスが全通。大川市から納楚まで、バイパスの総延長は17.42キロとなりました。これにより、区間内にある大川市、大木町、筑後市、八女市の連携が深まり、県南広域地域での産業・経済の発展や雇用の創出・拡大、定住促進に寄与することが期待されています。

光ファイバー網による情報通信基盤の整備

八女市では、国の補助事業を活用して光ファイバー網による情報通信基盤の整備を進めています。インターネットが使えなかったブロードバンドゼロ地域を解消し、防災や行政サービスなどに関する活用も図っていきます。



児童・生徒が学習に集中できる環境を整備 市立小中学校空調設備整備事業

近年の気候の温暖化の影響によって室温が高くなり、小・中学校の夏期学習は非常に厳しい環境で行われていました。

八女市では、平成25年度に市内全小・中学校の普通教室へ空調設備を設置し、児童・生徒が学習に集中できる環境の整備を図りました。



市内の店舗、施設、企業が子育て家庭を応援 パパ・ママ子育て応援ショップ事業



平成26年度から実施する、地域、企業及び行政が一体となって子育て家庭を応援する事業です。中学生修了までのお子さまを持つご家庭が「やめっこ子育て応援カード」に登録すると、「応援ショップ」として登録されている八女市内の店舗、施設、企業から、「やさしいサービス」「便利なサービス」「お得なサービス」の支援を受けることができます。



健やかな成長を願い、赤ちゃんにお祝金を支給 やめっこ夢祝金

定住人口の確保と出生率の改善を目指して、八女市では特色ある子育て支援事業を実施しています。その一つの「やめっこ夢祝金」は、八女市民の誕生を祝福し、赤ちゃんの心身ともに健やかな成長を願ってお祝い金を支給する制度です。

八女市では平成20（2008）年10月から、所得制限や医療費の一部負担を設けている県の事業に独自の支援策を加え、小学校就学前までの乳幼児の医療費無料化を実施しました。平成24年4月1日以降は、小・中学生の入院医療費を無料とし、助成を拡大。安心して医療を受けられる環境を整備しています。

平成24年度から小・中学生まで助成を拡大 こども医療無料化



中学生までのお子さまの転入費用の一部を支援 やめU I ターン子ども応援手当

平成26（2014）年度から、八女市では転入された中学生までのお子さまの小・中学校、保育所、幼稚園などにかかる費用の一部を援助する「やめUIターン子ども応援手当」を支給。八女市へのUIターンを希望するご家族を応援していきます。